

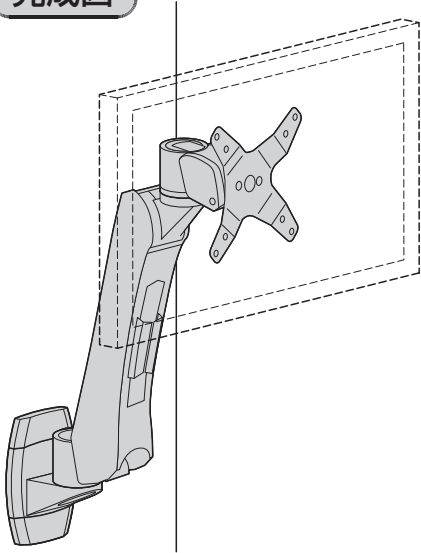
この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
本製品は組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

組立説明書は組立て後も大切に保管してください。

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

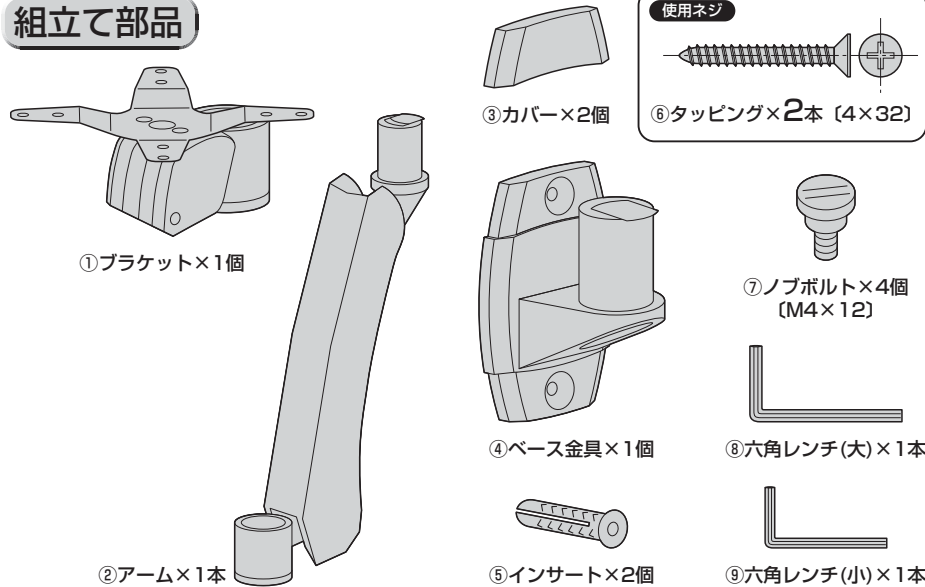
★用意していただくもの・・・・・・・・
電動ドリル、プラスチックハンマー
手袋(組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください)

完成図



総耐荷重 2~10kg (2kg以上10kg以下のディスプレイを取付け可能)

組立て部品



※部品の欠品や破損があった場合は、品番(CR-LA1004Nなど)と上記の部品番号(①~⑨)と部品名(ブラケットなど)をお知らせください。

必ずお守りください

壁面はディスプレイと本製品(2kg)の合計重量の5倍の荷重に耐えられるように、必要に応じて補強などしてください。

壁面の構造、または材質が荷重に十分耐えられる場所に取り付けてください。
強度が満たない壁面に取り付けるとディスプレイが脱落する恐れがあります。

※壁の材質や強度などが不明な場合は取付け工事業者などにお問い合わせください。
※また、本製品を壁面に設置後、撤去しますと壁面に取付け穴、インサートが残ります。ご了承ください。

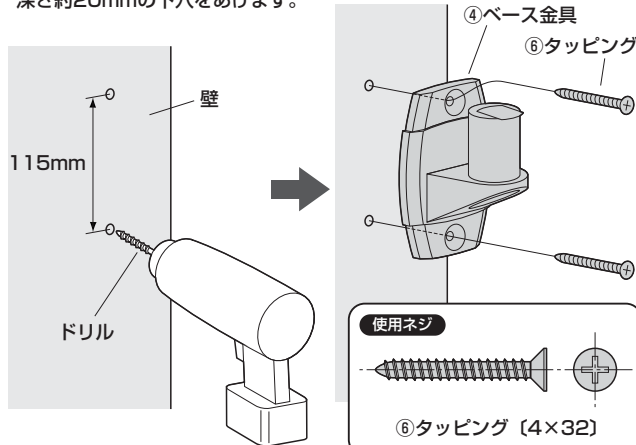
1 壁面にベース金具を取付けます。(壁の内部構造により取付け方法が違います)

※必ず壁の内部に芯材がある部分に取り付けてください。壁面はディスプレイと本製品(2kg)の合計重量の5倍の強度に耐えられるように、必要に応じて補強などしてください。

※壁に芯材が入っている場合

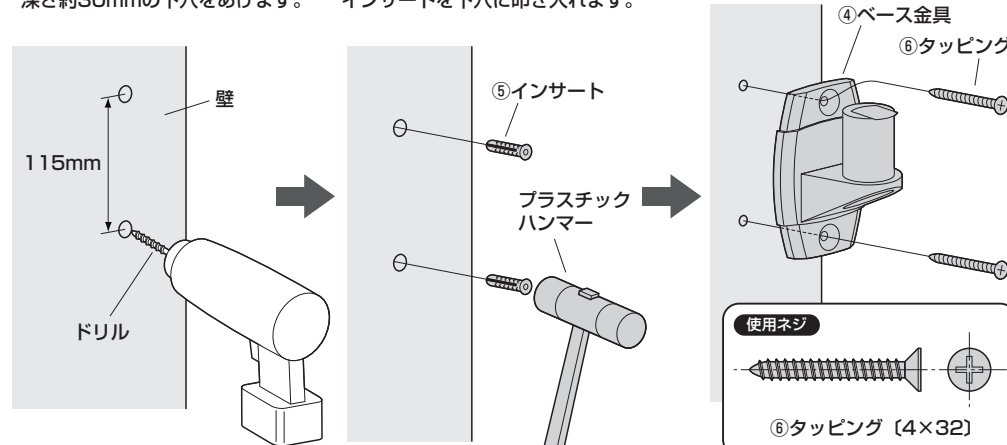
(石膏ボードや空洞がある材質の場合は芯材のある場所に合わせて取付けます)

- ①ドリルを使い壁に直径2.5mm、深さ約20mmの下穴をあけます。
- ②ベース金具をボルトで固定します。



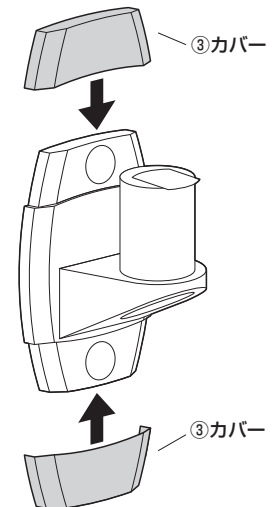
※コンクリートの壁の場合

- ①ドリルを使い壁に直径6.5mm、深さ約30mmの下穴をあけます。
- ②プラスチックハンマーなどでインサートを下穴に叩き入れます。
- ③ベース金具をボルトで固定します。

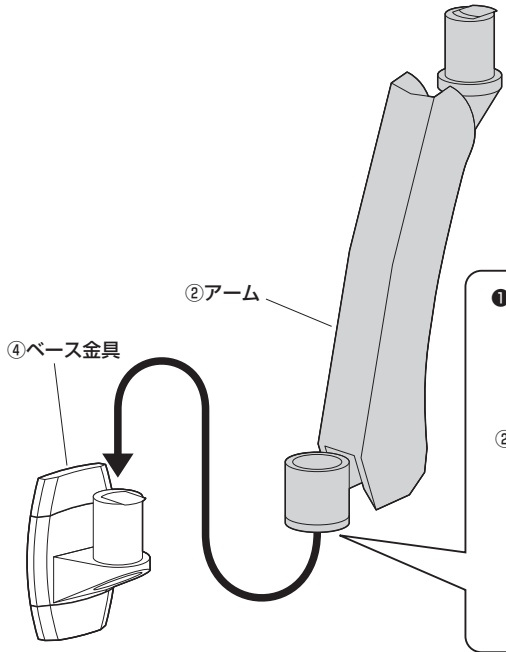


2 ベース金具にカバーを取付けます。

※それぞれ矢印の方向にパチンと音が出るまで差し込みます。



3 ベース金具にアームを差し込みます。



▲注意▲
指などを挟まないように十分ご注意ください。

①ベース金具にアームを斜めに押し当てます。

②アームを起こします。

③ベース金具にアームを最後まで差し込みます。

▲注意▲
パチンと音になるまで差し込みます。

4 ブラケットの向きを変えます。

ボルトを緩めてブラケットの向きを90° 変えます。

ボルトを締め付けて固定します。

※動きが硬い場合は先にディスプレイを取付けて、アームに取付けて動かしてください。

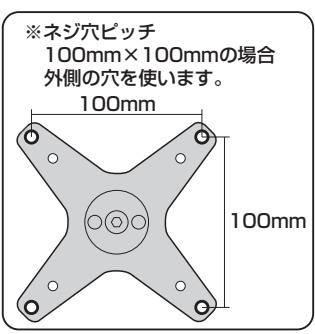
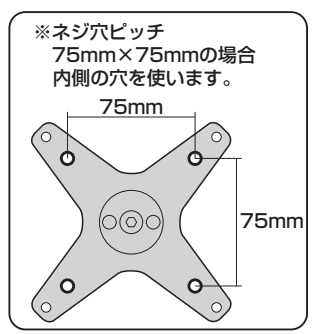
▲注意▲
可動部分で指などを挟まないように十分ご注意ください。

5 ブラケットをディスプレイの裏面に取付けます。 ※取付け可能なディスプレイの重量は2~10kgです。それ以外のディスプレイは絶対に取付けしないでください。

- ▲注意▲** 毛布などを下に敷き、ディスプレイへの傷や破損に十分ご注意ください。
- ▲注意▲** ディスプレイに付属しているスタンド類は取外してください。スタンド類の取外し方法はディスプレイの取扱説明書をご参照ください。

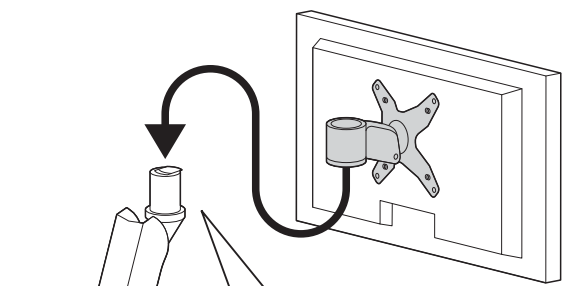
※付属のボルトが最後まで締まらない、またボルトが少ししか回っていないなど、ボルトが合わない場合は、強度に十分ご注意の上、市販の適切なサイズのボルトをご用意ください。

①ノブボルト
※コインなどを使ってしっかりと締め付けます。



▲注意▲ ボルトが長すぎるとディスプレイを破損する場合があります。また、ボルトが短すぎるとディスプレイがしっかりと固定できず脱落する恐れがあります。取付けに適したボルトの長さは各ディスプレイによって異なります。必ずディスプレイの取扱説明書や、メーカーへの問い合わせなどでご確認の上、取付けるボルトの長さを決めてください。

6 アームにブラケットを取付けます。



▲ 注意 ▲
この作業は必ず大人2人以上で行ってください。

▲ 注意 ▲
指などを挟まないように十分ご注意ください。

① アームにブラケットを斜めに押し当てます。

② ブラケットを起こします。

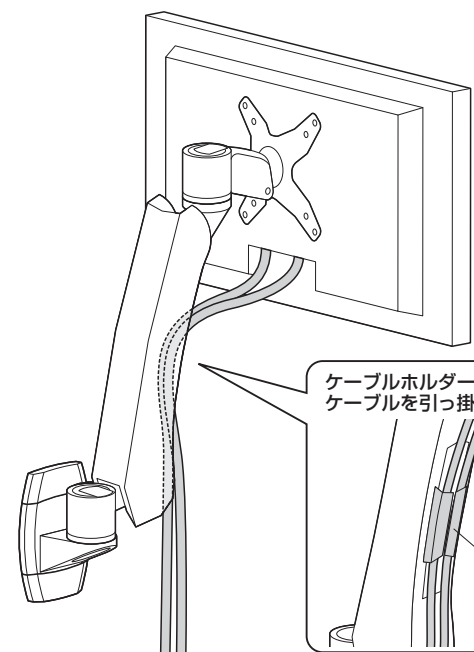
③ アームにブラケットを最後まで差し込みます。

▲ 注意 ▲
パチンと音が出るまで差し込みます。

① ブラケット

② アーム

7 ディスプレイにケーブルを取付けて完成です。



ケーブルホルダーにケーブルを引っ掛けます。

ケーブルホルダー

アーム各部の可動範囲、及び固さの調節方法

アームの動きが軽すぎたり、重すぎる場合は六角レンチ(小)でボルトを回して調節します。

アームの動きが軽すぎたり、重すぎる場合は六角レンチ(小)でボルトを回して調節します。

ディスプレイの高さがうまく固定されない場合は、アームのボルトを回して調節します。

ディスプレイが下がる場合

ディスプレイが上がる場合

⑧六角レンチ(大)

調整ボルト

180°

200°

100°

上方向90°

ディスプレイ90°回転

ディスプレイを取付けるとアームを任意の角度で止めることができます。

⑨六角レンチ(小)

⑨六角レンチ(小)

⑨六角レンチ(小)

⑨六角レンチ(小)

縮める

緩める

縮める

緩める

縮める

緩める

縮める

緩める

